

当県の交通事故(人対車)の特徴

※ 令和5年中

・歩行中の死傷者数の多い時間帯は？
→ **16時～19時までの約3時間**

※全体の約3割 (人対車事故 合計174件)

・どんな事故が多いの？

→ **道路横断中が約6割**

※横断事故の約7割が横断歩道上



どうして？

人の目は、周囲が短時間で暗くなることに順応(暗順応)できないからです。

歩行者等の
発見が遅れる！



↳ **事故に遭わないために！**

少しの外出でも、**油断せず「反射材」と「明るい服装」**を着用して自分の存在を運転者にアピールしましょう💡

反射材の種類

反射材には、**バンド型**、**たすき型**、**リフレクター型**など様々な種類があります。一つでも多く**身体や靴、カバン、自転車**などに身につけましょう。



を
つけま
しょう。

早朝 夜間 夕暮れ時

反射材



あきた交通安全大使 相場 詩織さん

反射材の効果と重要性

夜間の視認性

○夜間、車から歩行者が

見える距離

- ・反射材は、光が当たると「**浮かび上がって**」見えます。
- ・反射材を着用していない場合と比べて、ドライバーさんが、「**約2倍以上手前**」で発見可能になります。



ヘッドライト
下向きの場合

黒っぽい服装
約26m

明るい服装(白、黄など)
約38m

反射材着用
57m以上



秋田県警察本部交通企画課
youtubeチャンネル



車や自転車の ドライバーのみなさん！

早めの
ライト点灯

上向き
ライト活用



あきた交通安全大使
相場 詩織さん

当県の交通事故(人対車)の特徴

※ 令和5年中

・交通事故の多い時間帯は？

→ **16時～19時の3時間**

交通事故が多いことから、

「**魔の時間帯**」

と言われています。



・魔の時間帯に発生した事故の
ライトの向きは？

全ての車が下向きライト

※未点灯、自転車を除く



～下向きライトの特性について～

照射範囲



右側の照射範囲が狭いので
歩行者が発見しにくい

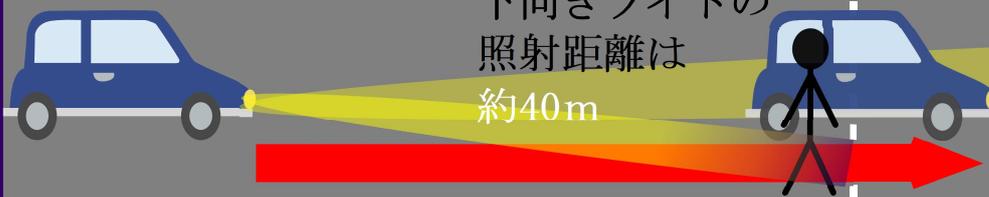
**油断せず、安全確認と速度
を十分に抑えた運転を！！**

上向き・下向きライトのこまめな切り替えで交通事故防止！

下向きライトの
照射距離は
約40m

60km/hでの
停止距離は
約44m

上向き
ライトの
照射距離は
約100m



60km/hで走行中の車の停止距離は約44mです。下向きライトのまま、歩行者を発見しても、歩行者の手前で停止できないおそれがあります。

対向車や先行者等がない時は、「上向きライト」での走行を！

ライト点灯時刻の目安

※ 当県の日没時刻おおむね1時間前を基準(国立天文台のHP参照)あくまでの目安です。天候(雨や雪)等に応じて点灯しましょう。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:10	17:50	17:10	16:20	15:40	15:10



秋田県警察本部交通企画課
youtubeチャンネル

